

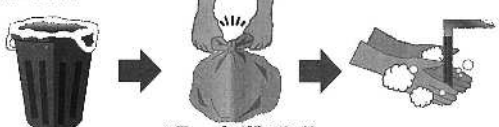
家庭等から出る感染性廃棄物の扱いに懸念の声

新型コロナウイルスなどの感染症対策としての ご家庭でのマスク等の捨て方

新型コロナウイルスなどの感染症に感染した方やその疑いのある方などがご家庭にいらっしゃる場合、鼻水等が付着したマスクやティッシュ等のごみを捨てる際は、以下の『**ごみの捨て方**』に沿って、『**ごみに直接触れない**』『**ごみ袋はしっかりとしばって封をする**』そして『**ごみを捨てた後は手を洗う**』ことを心がけましょう。

ごみの捨て方

- ①ごみ筒にごみ袋をかぶせます。いっぱいになる前に早めに②のとおりごみ袋をしぼって封をしましょう。
- ②マスク等のごみに直接触れることがないようにしっかりとしばります。
- ③ごみを捨てた後は石鹸を使って、流水で手をよく洗いましょう。



※万一、ごみが袋の外に触れた場合は、二重にごみ袋に入れてください。

- 『ごみの捨て方』に沿っていただくことにより、ご家族だけでなく、皆様が出したごみを扱う市町村の職員や廃棄物処理業者の方にとっても、新型コロナウイルスやインフルエンザウイルスなどの感染症対策として有効です。
- ごみを捨てる際は自治体のルールに従うとともに、ポイ捨ては絶対にやめましょう。使用済みのマスク等のごみを捨てる際にも、『ごみの捨て方』を参考に、『ごみに直接触れない』『ごみ袋はしっかりとしばって封をする』そして『ごみを捨てた後は手を洗う』ことに注意しましょう。



環境省の新型コロナウイルスに係る 廃棄物対策のチラシ

くも疑いのあるものについては、バイオハザードマークを表示するなどで感染性廃棄物（感染性一般廃棄物）として取り扱わないと、清掃作業員が感染する可能性は高い」と懸念する。また、全国的なマスク不足の問題も懸念されており、バイオハザードマークを付した中では、感染性の多い地域では病床確保の観点から、宿泊施設や自宅での療養する方向になっており、家庭から排出される感染性廃棄物はさらに増加することが予想される。廃棄物からの感染を防ぐため、処理業者からは、国の対応強化を求める声が出ている。

一方、医療機関等から排出される感染性廃棄物（感染性産業廃棄物）をめぐっては、同省は先月4日に都道府県・政令市に向けて行った通知の中で、マニュアルに基づき適正に処理することとしていた。医療機関等の医療業務などが進まず継続することの妨げとならないよう、廃棄物処理業者が十分な理由なく新型コロナウイルス感染症に感染した人などの感染性廃棄物とその他の感染性廃棄物の分別や特別な表示を求めることを慎重に周知することを自治体に求めた。

これに対し、全国産業廃棄物処理業協会（以下、産業廃棄物処理業者の安全確保や適正な処理など）は、二重にごみ袋に入れてください。

新型コロナウイルスなどの感染症に感染またはその疑いのある人がいる家庭から排出される廃棄物の処理を巡り、廃棄物処理業者から懸念の声が挙がっている。環境省では感染またはその疑いのある人が使ったマスクやティッシュなどについては、直接触れずにごみ袋に入れしっかりとしばって封をすればよいと指導している。しかし、これに対し処理業者からは「収集の際にパッカー車が袋を押しつぶして、菌が拡散されるような事態になりかねない」と指摘する。感染拡大を防ぐため安倍晋三首相は7日に法律に基づき緊急事態宣言を行ったが、「外出、人との接触を避けることなどを要請している一方で、廃棄物の扱いについてはささずる」と関係者は危機感を示す。

廃棄物処理業界 新型コロナウイルス

感染拡大につながる恐れも

環境省では廃棄物処理における新型コロナウイルス感染症に係る対策については、『ごみの捨て方』に沿って、『ごみに直接触れない』『ごみ袋はしっかりとしばって封をする』そして『ごみを捨てた後は手を洗う』ことを心がけましょう。また、全国的なマスク不足の問題も懸念されており、バイオハザードマークを付した中では、感染性の多い地域では、病床確保の観点から、宿泊施設や自宅での療養する方向になっており、家庭から排出される感染性廃棄物はさらに増加することが予想される。廃棄物からの感染を防ぐため、処理業者からは、国の対応強化を求める声が出ている。

一方、医療機関等から排出される感染性廃棄物（感染性産業廃棄物）をめぐっては、同省は先月4日に都道府県・政令市に向けて行った通知の中で、マニュアルに基づき適正に処理することとしていた。医療機関等の医療業務などが進まず継続することの妨げとならないよう、廃棄物処理業者が十分な理由なく新型コロナウイルス感染症に感染した人などの感染性廃棄物とその他の感染性廃棄物の分別や特別な表示を求めることを慎重に周知することを自治体に求めた。

環境省では廃棄物処理における新型コロナウイルス感染症に係る対策については、『ごみの捨て方』に沿って、『ごみに直接触れない』『ごみ袋はしっかりとしばって封をする』そして『ごみを捨てた後は手を洗う』ことを心がけましょう。また、全国的なマスク不足の問題も懸念されており、バイオハザードマークを付した中では、感染性の多い地域では、病床確保の観点から、宿泊施設や自宅での療養する方向になっており、家庭から排出される感染性廃棄物はさらに増加することが予想される。廃棄物からの感染を防ぐため、処理業者からは、国の対応強化を求める声が出ている。

一方、医療機関等から排出される感染性廃棄物（感染性産業廃棄物）をめぐっては、同省は先月4日に都道府県・政令市に向けて行った通知の中で、マニュアルに基づき適正に処理することとしていた。医療機関等の医療業務などが進まず継続することの妨げとならないよう、廃棄物処理業者が十分な理由なく新型コロナウイルス感染症に感染した人などの感染性廃棄物とその他の感染性廃棄物の分別や特別な表示を求めることを慎重に周知することを自治体に求めた。

環境省では廃棄物処理における新型コロナウイルス感染症に係る対策については、『ごみの捨て方』に沿って、『ごみに直接触れない』『ごみ袋はしっかりとしばって封をする』そして『ごみを捨てた後は手を洗う』ことを心がけましょう。また、全国的なマスク不足の問題も懸念されており、バイオハザードマークを付した中では、感染性の多い地域では、病床確保の観点から、宿泊施設や自宅での療養する方向になっており、家庭から排出される感染性廃棄物はさらに増加することが予想される。廃棄物からの感染を防ぐため、処理業者からは、国の対応強化を求める声が出ている。

一方、医療機関等から排出される感染性廃棄物（感染性産業廃棄物）をめぐっては、同省は先月4日に都道府県・政令市に向けて行った通知の中で、マニュアルに基づき適正に処理することとしていた。医療機関等の医療業務などが進まず継続することの妨げとならないよう、廃棄物処理業者が十分な理由なく新型コロナウイルス感染症に感染した人などの感染性廃棄物とその他の感染性廃棄物の分別や特別な表示を求めることを慎重に周知することを自治体に求めた。

外に出るや往來などの自衛は必要ないはず。新型コロナウイルスに感染した人が立ち寄った先は徹底的に調査している。また、感染で亡くなった方に家族が対面できないというケースもある。こうした中で、廃棄物はごみ袋に入れればよいというのはいまだに「感染性一般廃棄物」として感染性産業廃棄物の処理業者が回収・処理を行う今回の対応について、このように複雑な取り扱いは、パッカー車が袋を押しつぶして菌が拡散される恐れがある人も懸念している。

できない状況では、作業員の安全は確保できない」と訴える。